

JA全農えひめ情報

# あひま

■特集

レインボーフェスティバル in えひめ2012

■JA直売所めぐり

金生ふれあい市 ~JAうま~

# 12

2012・December





▶JAにしようわのキャラクター「みかんちゃん」がおいしいみかんを全国へお届けします！



▶JAにしようわの選果風景。プロの目で一つ一つを見極める

## みかんの出荷

(JAにしようわ)



愛媛県内では、温州みかんが出荷最盛期を迎えています。県内最大のみかん産地・JAにしようわでは約33,000t(前年比98%)の出荷を計画。愛媛県内(59,943t計画)の5割以上を占めています。今年は例年より10億円高い100億円の販売目標を掲げて、日の丸・真穴・川上など10の共選からそれぞれ特徴を活かしたブランドみかんが、関東を中心に全国へと出荷されます。

JAにしようわは、みかんのトップブランドとして、一番美味しくなる時期に、消費者の口に届けられる「出荷にこだわっています。11月初旬の初出荷の段階から、市場到着時の品質を逆算し、9分着色の収穫を徹底。特選ブランドにおいては糖度は12〜13度、酸度・外観も高い基準値を設け、消費者目線にたった価格以上の価値観を追求しています。今年産は、糖酸バランスが非常に良好で市場・販売店からも食味は高評価、最盛期は日量約900tを出荷予定です。

温州みかんは贈答需要の12月をピークに年内が本番、年明けは有袋完熟などのこだわりみかんが出回ります。

# めぐり〜ど

December 2012

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



家族みんなの年末大掃除は12月の恒例イベントです。普段はできないところもチェックして。家のメンテナンスも兼ね、なくしものが見つかるなんてラッキーなコトがあるかもしれません。家中がキレイになり、気持ちもスッキリとしたところで、新年を迎える準備にかかりましょう。未来へと希望をつなぐ一歩です。

●表紙：大掃除  
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.144

### ミカンの出荷 (JAにしうわ)

2

〈特集〉

### レインボーフェスティバル in えひめ2012 体験・交流を通じて 食と農の大切さをアピール

5

THE・ねっとわーく

7

統計BOX

8

第35回JA愛媛県大会

### 地域とともに、食と農を通じた 豊かな愛媛づくりを決議

12

ふるさと ESSAY VOL.212

### 恩を知り、 経験を知識に変えて、醸す酒 中城 英敏さん

14

TOPIC NEWS

17

なんでもBOX

18

JAふるさと自慢Vol.144「直売所めぐり」

### 金生ふれあい市~JAうま~

20

READERS通信

NOW NOW COOKING〈今月の素材〉ゴボウ

### JA全農えひめ

### ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)  
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ja-fresh/>

◆(株)ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

# レインボーフェスティバル

in えひめ2012

体験・交流を通じて  
食と農の大切さをアピール

J A全農えひめグループは、11月3日(土)、松山市大可賀のアイテムえひめで、「レインボーフェスティバルinえひめ2012」を開きました。会場は大勢の人出で賑わい、2万人が来場しました。



▲あいさつする岡本会長



▲関係者のテープカット  
で一斉に入場



▲終日賑わった会場



▲ちびっ子プレゼントに笑顔

このイベントは「生産者と消費者を結ぶ懸け橋」として、J A全農えひめとグループ7社が毎年実施している県内J Aグループの一大イベントで、今年が20回目となりました。

会場には、J A全農えひめ、グループ会社のほか、県内J A・生産者組織など39団体から旬の青果物や農産加工品など地域特産品が勢ぞろい。各ブースでは、試食や袋詰めなど趣向を凝らしながら即売し、旬の味覚を買い求める人で賑わいました。

子どもたちを対象にした体験コーナーでは、おにぎりやうどん、マヨネーズづくり、餅つき、大型農機の試乗、寄せ植えなどを通じて「食と農の大切さ」をアピールしました。

# 食と農の体験コーナーは笑顔が一杯

## ポンジュース蛇ロコーナー



▲終日長蛇の列



▲ちょっと入れすぎたかな？



▲飾りもバッチリ！



▲おにぎりづくりに悪戦苦闘



▲うどんづくり



▲うどん完成



▲腕をまくってあん餅づくり



▲農機試乗



▲(株)えひめ飲料コーナーのガラポン抽選会ではジュースセットをゲット



▲寄せ植え



▲お茶をきゆうすで入れてみよう！

また、特設ステージでは、J A 全農えひめの諏訪玄県本部長と愛媛みかん大使が参加して、「オレンジロード」のスタートイベントを開催。ちびっ子を対象に「みかんの皮早むき大会」等を実施し、11月3日の「みかんの日」から4月14日の「オレンジデー」まで実施する「オレンジロード」の取組みをPRしました。

畜産フェアでは、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の試食販売、ステーキでは豚肉の部位カット&セリ販売などを通じて愛媛ブランド肉の消費拡大を呼びかけました。

NHK「ふるさとの食」に「ぽんの食」愛媛県フェスティバルとして実施した、食べ物絵本の読み聞かせ&紙切り等のイベントも子どもたちの人気を集めました。

なお、役職員が持ち寄った品物の「チャリテイバザー」や「豚肉のセリ販売」などを通じて集まった11万3,300円は、全農全国統一活動として「NHK東日本大震災義援金」に全額寄付します。

J A・団体のご協力により、地元の皆様へ「豊かな食文化の提供」「愛媛農業への理解促進」を図ることができました。ありがとうございました。

# JA・団体コーナー等も賑わいました。

## ★オレンジロードイベント



▲早い！みかん早むき大会



▲参加者はみかん大使とじゃんけんで決定！



▲JAえひめ南は、じゃこ天の他にみかん袋詰め放題



▲JA今立立花は旬のレンコンをアピール



▲JAおちいまばりは豚肉の串焼き



▲JA松山市はピーマン袋詰め放題が人気！



▲たまご袋詰め放題(JAえひめフレッシュフーズ株)



▲JAひがしうわは「れんげ市場」が出展



▲椎茸同志会恒例の乾椎茸つかみどり



▲JAにしゅうわは、みかんと加工品を販売



▲JA愛媛たいきは、柿の試食販売が人気！



▲女性協と青壮年連盟のもちつきは休む時間もな  
いくらい

## ★豚肉カット&セリ



▲セリは大盛況

# THE ねつとわーく

「平成24肥料年度春肥価格が決定！」

## 肥料農薬課

成25年5月)の肥料供給価格を決定しました。

肥料メーカーからは、国産ナフサ、重油価格、電力料金の値上がりにより、

J A全農は、メーカー各社と交渉を行い、平成24肥料年度春肥(平成24年11月〜平成25年5月)の肥料供給価格を決定しました。

これに対して、J A全農は厳しさを増す農業・農家の状況を踏まえ、農家の負担増を回避するという立場から、製造諸経費の値上げ要因はメーカーで吸収することを求め、J

### 平成24肥 春肥 価格決定内容

(対農向け価格) (単位:20kg、%)

分類	品目	成分	決定内容
			変動率
窒素質	尿素(輸入)	46	▲2.4
	尿素(国産)	46	0.0
	硫安(大粒)	21	0.0
	硫安(粉)	21	0.0
	塩安	25	0.0
	石灰窒素	21	0.0
磷酸質	過石	17	▲1.1
	重過石	34	▲1.1
	熔燐	20	▲1.1
	重焼燐	35	▲1.0
加里質	塩加	60	▲2.5
	硫加	50	▲3.3
	珪酸加里	20	▲0.5
複合肥料	高度化成(一般)	15-15-15	▲0.7
	高度化成(機能)	15-15-15	▲1.1
	PKセーブ488	14-8-8	▲0.4
	普通化成	8-8-5	▲0.7
	有機化成	8-8-8-3	0.0

※J A・農家向けの供給価格の変動率とは一致しません。



A全農の輸入する海外原料は値下げ要因を最大限折り込みました。その結果、主要品目の高度化成は値下げ、単肥は、窒素質肥料が据え置き(輸入尿素は値下げ)、磷酸質肥料と加里質肥料は値下げとなり、ほとんどの品目で値下げとしました。

### J Aグループの取組み

今後も海外肥料原料価格は上昇基調が予想されることから、引き続き施肥コスト抑制対策に一層取り組んでいきます。

- ① 土壌分析・診断にもとづく適正施肥の実施
  - 土壌診断室での分析を基本に、土壌診断に基づいた適正施肥を強化するため、「第3期生産・販売・購買一体事業」の取り組みとして、「担い手に対する無償土壌診断」を継続する。
- ② 低成分肥料および四国地区低コスト配合肥料の普及拡大
  - 低成分肥料「しあわせ化成」や四国地区低コスト配合肥料「いぎなみ・農援隊」への銘柄集約を進める。
- ③ 省力型施肥技術の普及推進
  - 被覆肥料などの肥効調節型肥料による基肥一発施肥や局所施肥法などの普及拡大に取り組む。
  - 特に水稻育苗箱全量施肥栽培「苗箱まかせ」については、担い手の協力を得て省力化実証展示圃を設置し、省力栽培体系の確立に取り組む。
- ④ 安価な国内未利用資源の活用
  - 鶏糞燃焼灰等、地域で発生する安価な国内未利用資源を原料として活用した低コスト肥料の普及に取り組む。
- ⑤ 物流合理化の推進
  - 広域物流整備による物流合理化を通じて、新たな地域総合物流化を進める。

# 「愛のオレンジロード」スタート 愛媛みかん消費拡大キャンペーン

## 青果販売課

J A全農えひめは、4月14日「オレンジデー」を「愛を深める」記念日として定着させ、新たな需要を掘り起こし販売拡大につなげようと、11月3日「みかんの日」から4月14日まで「愛のオレンジロード」として、消費拡大キャンペーンを実施中です。

11月1日には、愛媛産早生みかんの本格販売と愛媛みかん消費宣伝



▲11月1日中村知事（中央）を表敬訪問

キャンペーンのスタートの前に、岡本健治運営委員会会長と愛媛みかん大使らが、愛媛県庁に中村時広県知事を表敬訪問し、今年産のみかんを贈呈しました。

みかん大使は、「生産者が丹精込めて生産した愛媛の美味しいミカンを、全国の皆さんにPRしてきます」と元氣よくキャンペーンに臨む決意を伝え、愛媛みかんを贈呈。中村知事から「愛媛はかんきつ生産量日本一



▲11月3日オレンジロードスタートイベント。あいさつする諏訪県本部長

で、品質も抜群、種類も多い。特徴をしっかりと覚えて、全国・海外に産地を代表しアピールしてきてほしい」と激励されました。

## 愛媛みかん消費宣伝キャンペーン

今年の愛媛みかん消費宣伝キャンペーンは、11月3日の「みかんの日」にあわせ、「レインボーフェスティバル」会場で、オレンジロードスタートイベントを開催。その後、11月8日～11月12日まで、首都圏と関西地区で、キャンペーン活動を展開しました。

県内早生みかんが出揃った11月8日には、県内主産地とともに東京・



▲11月8日東京・大田市場初荷セレモニー

大田市場で初荷セレモニーを行い、早生みかんの出荷スタートをアピールしました。

また、9日にはJ R有楽町駅前広場特設ステージで行われた愛媛県観光・物産PRイベントに参加、10日には「西銀座」晴海通り側エントランスで、愛媛みかんを約1万人にサンプルリング（無料配布）。このほか、マスクミ訪問活動や店頭販促活動を精力的に行いました。

J A全農えひめでは、県内J Aと一体となって、温州みかんや次々と旬を迎える愛媛産かんきつの消費拡大と「オレンジデー」の定着に向け、全国に呼びかけていきます。



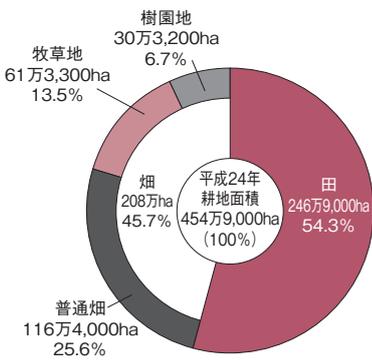
▲西銀座サンプルリング

# 統計BOX

## 全国の耕地面積は454万9,000ha

— 平成24年耕地面積(7月15日現在)調査結果の概要から —

図1 耕地種類別面積割合(全国)



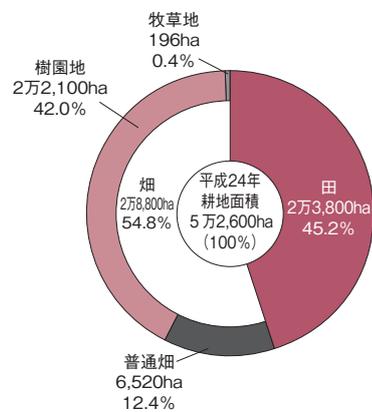
愛媛県における耕地面積(田畑計)は5万2,600haで、主に耕作放棄が進んだことから前年比べて

1. 平成24年7月15日現在の全国の耕地面積(田畑計)は454万9,000haで、宅地等への転用、耕作放棄等により前年に比べ1万2,000ha(0.3%)減少しました。田畑別みると、田は246万9,000ha、畑は208万haで、前年に比べてそれぞれ5,000ha(0.2%)、7,000ha(0.3%)減少しました(図1)。

愛媛県は田より畑が多く、耕地の4割は樹園地

耕地は、食料の安定供給のためだけでなく、地域や生き物の生活環境を守る多面的機能を発揮することから、私たち国民の貴重な財産です。今月は全国及び愛媛県の平成24年耕地面積をみていきます。

図2 耕地種類別面積割合(愛媛県)



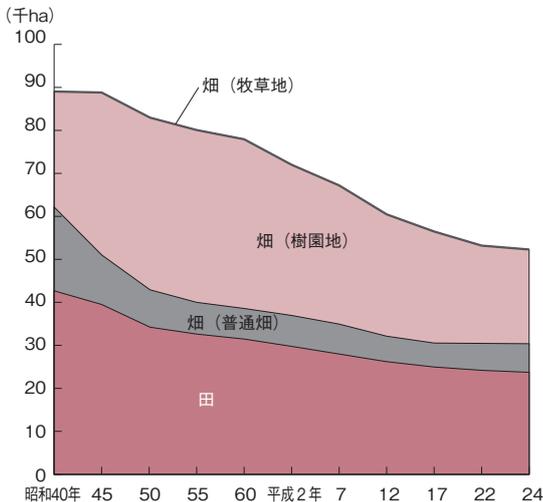
愛媛県における耕地面積(田畑計)は5万2,600haで、主に耕作放棄が進んだことから前年比べて

1. 愛媛県の耕地面積の推移をみると、昭和50年に比べ3万900ha(37.0%)減少し、田は1万800ha(31.2%)、畑は2万100ha(41.1%)、畑の種類別には、普通畑は1,820ha(21.8%)、樹園地は1万8,100ha(45.0%)、牧草地は165ha(45.7%)減少しています(図3)。

愛媛県は昭和50年に比べ37%の耕地が減少

また、県内の耕地を種類別にみた面積割合は、田が45.2%、畑が54.8%で、畑の内訳は普通畑12.4%、樹園地42.0%、牧草地0.4%となっています(図2)。

図3 田・畑種類別耕地面積の推移(愛媛県)

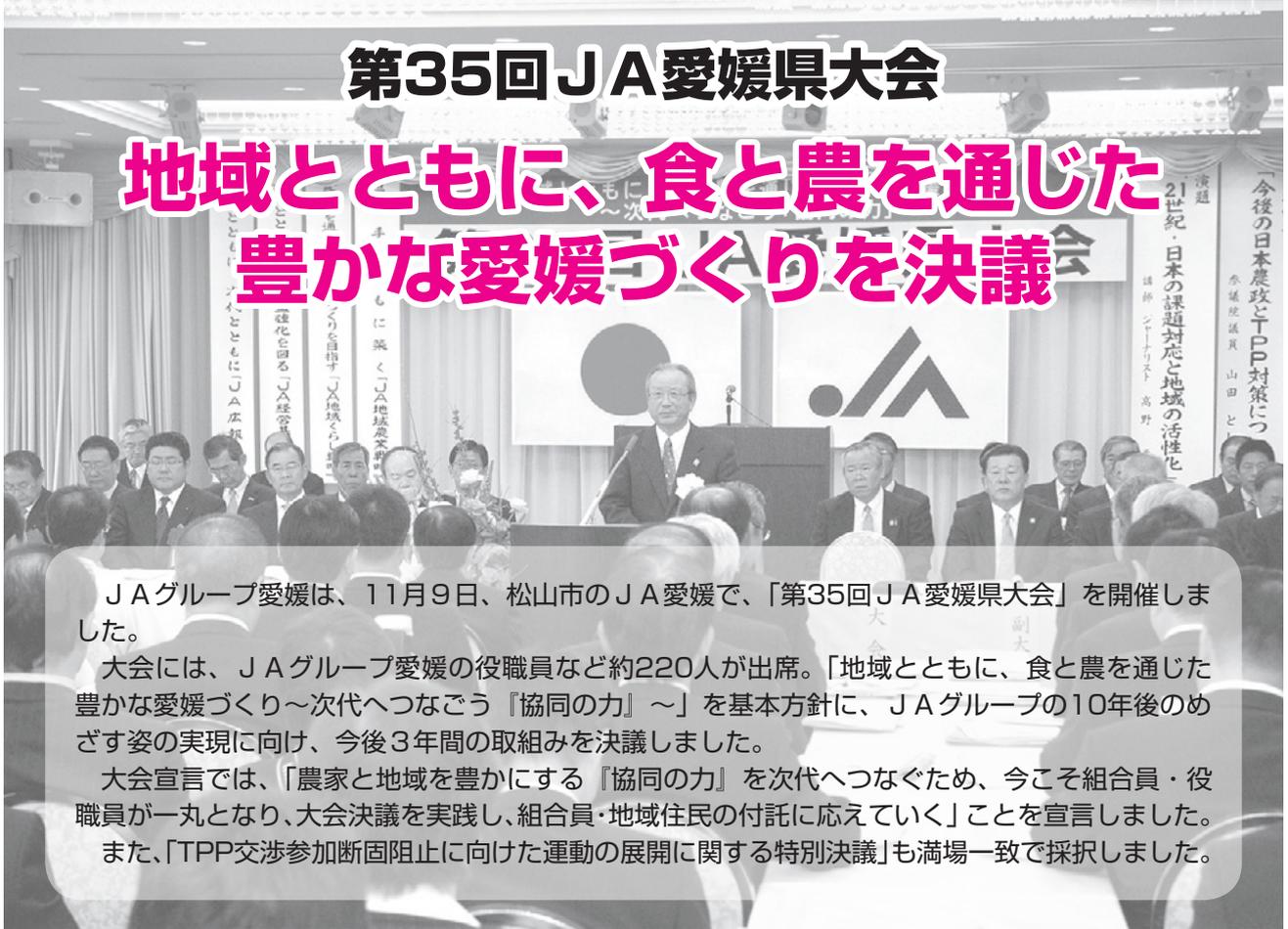


中国四国農政局  
松山地域センター 農政推進グループ

高 齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等の「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えていきます。農林水産省では、このような「人と農地の問題」の解決に向けて取り組まれる集落・地域の皆さんの一助となるよう、新しい施策を用意しました。地域農業のあり方や今後の地域の中心となる経営体等を定めた「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」の作成に必要な集落の合意形成活動や新規就農者、農地の集積等を支援しています。

# 第35回JA愛媛県大会

## 地域とともに、食と農を通じた豊かな愛媛づくりを決議



JAグループ愛媛は、11月9日、松山市のJA愛媛で、「第35回JA愛媛県大会」を開催しました。

大会には、JAグループ愛媛の役職員など約220人が出席。「地域とともに、食と農を通じた豊かな愛媛づくり～次代へつなごう『協同の力』～」を基本方針に、JAグループの10年後のめざす姿の実現に向け、今後3年間の取組みを決議しました。

大会宣言では、「農家と地域を豊かにする『協同の力』を次代へつなぐため、今こそ組合員・役職員が一丸となり、大会決議を實踐し、組合員・地域住民の付託に応えていく」ことを宣言しました。

また、「TPP交渉参加断固阻止に向けた運動の展開に関する特別決議」も満場一致で採択しました。

### 基本的考え方

#### ■JAグループのめざす姿(10年後)

○消費者の信頼にこたえ、安全で安心な県産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業所得の向上を支える姿

○総合事業を通じて地域のライフレインの一翼を担い、協同の力で豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献している姿

○次世代とともに、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、存立している姿

#### ■めざす姿の実現に向けて3つの戦略と広報活動

JAグループ愛媛は、めざす姿の実現に向け、次の取組みを進めます。

- ① 担い手づくりによる愛媛農業の発展
- ② 豊かでくらしやすい地域社会の実現
- ③ 次世代とともに地域に根ざした協同組合としての役割発揮
- ④ JAと農業への正しい県民理解の醸成に向けた広報活動の実践

### 担い手づくりによる愛媛農業の発展

1. 次代へつなぐ地域営農ビジョンの策定・実践

若者・高齢者・女性等地域の全ての農家が徹底した話し合いを行い、「10年後の地域農業が成り立つ姿」(地域農業ビジョン)を描きます。この「地域農業ビジョン」の実現に向け、地域農業を支える担い手づくりと農地の活用、農地相続対策も含めた担い手への総合的な経営支援に取り組みます。

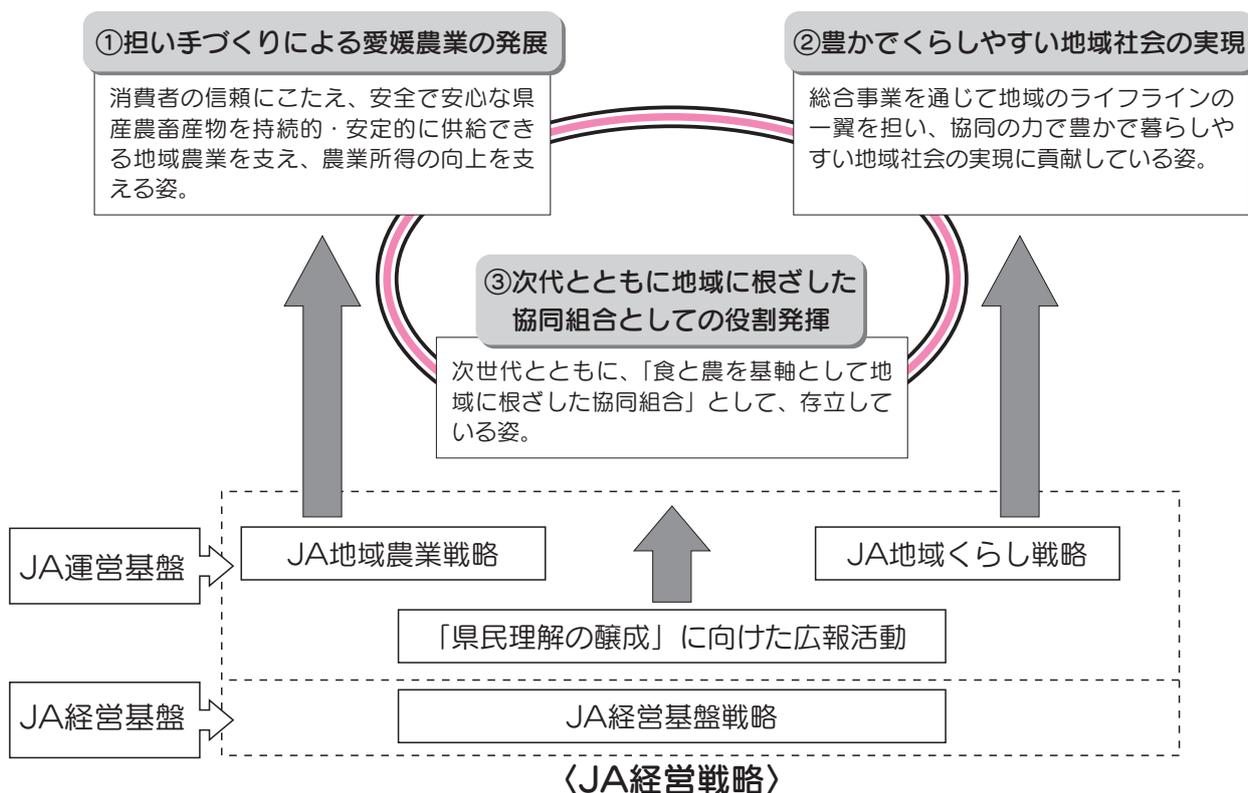
2. 農業所得向上を支援する生産販売戦略の実践

市場販売の重点化を図るため、市場や実需者とのパートナーシップを強化します。また、市場販売に重点を置きながら、多元的な販売チャネルに対応した部会・共販組織の体制強化を図ります。さらに、地域に根ざした生産販売を進めるため、販売を起点とした生産指導など事業提案の充実を図ります。

【市場販売の重点化と多元的な販売チャネルの対応強化の取組み】

- ① 担い手の農業所得確保に向けた

## ■めざす姿の実現に向けての3つの戦略と広報活動



販売提案力の強化

② 販売力強化に向けた生産指導の強化

③ 生産計画に連動した予約結集、ジェネリック農薬・大型規格品の普及拡大等による低コスト資材の供給

④ 施設整備とニーズに応える事業運営

⑤ 「えひめの食企画」、「オレンジロード企画」等を通じ、消費者と生産者との顔の見える関係づくりとPR事業

3. 持続可能な地域農業実践に向けた新たな政策等の確立

例外なき関税化、極端な市場原理主義を指向するTPPへの参加は、食料自給率の向上や持続可能な地域農業の振興と相容れないものであり、国民生活にも重大な影響を及ぼすことから、JAグループ愛媛は、「食とくらしと地域を守るネットワーク愛媛」の各団体と連携し、TPP交渉参加阻止運動に取り組んでいます。

今後も参加阻止運動を継続していく中で、TPPに対する正確な情報開示と公正で広範な国民的議論の徹底を求め、あくまで国益の視点に

立ってTPPについての議論を深めていきます。その他、FTA、EPA交渉についても適正な関税措置を求める基本的な立場を堅持します。

「食料・農業・農村基本計画」で掲げた食料自給率50%の達成に向け、JAグループとしての政策提案を行うなど、農業予算対策、税制改正等への対応、品目別の経営所得安定対策の確立等に取り組みます。

また、現場実態に即した政策提案や意見提言を行い、行政に具体的な政策支援を求めていく等、組合員の意思結集による政策提案型の農政運動体制づくりを行います。

【品目別政策確立に向けた取組み】

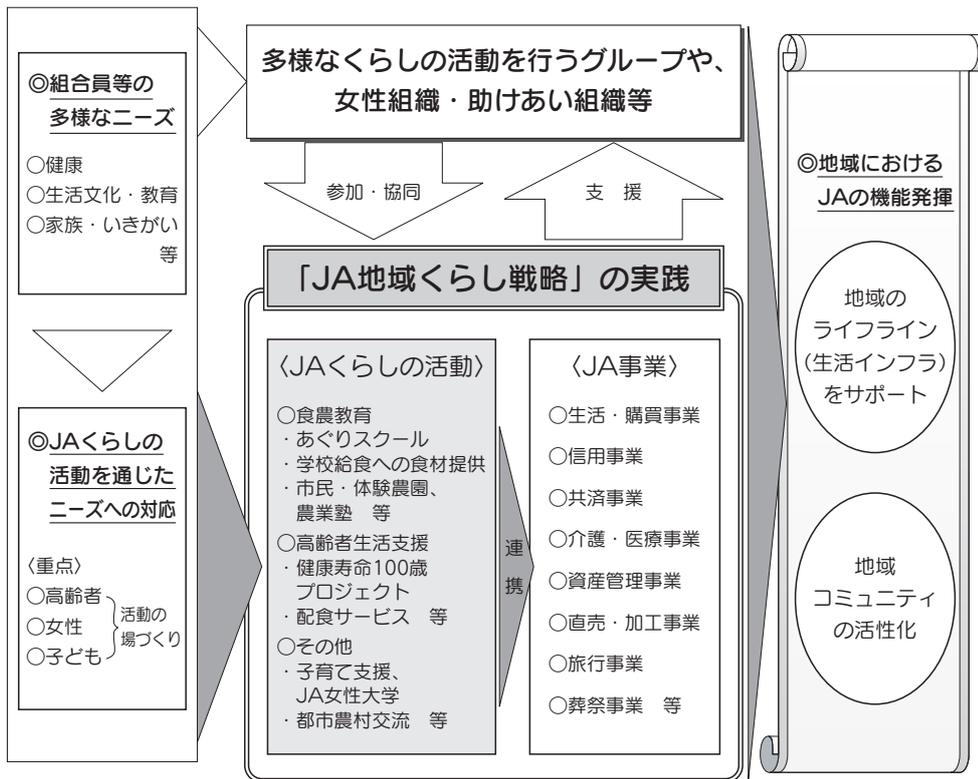
- ① 「新たな直接支払い制度」を基本にした総合的な農業政策の確立
- ② 土地利用型農業（水田農業）の政策確立、畜産・酪農対策、果樹・野菜対策
- ③ 耕作放棄地・鳥獣被害対策
- ④ 税制抜本改革

豊かでくらしやすい  
地域社会の実現

1. 地域を支えるJAの総合機能の発揮

JAは食農教育・高齢者生活支援

## ■「JA地域暮らし戦略」の実践による協同の輪の拡大(概念図)



事業等の「JA暮らしの活動」を通じ、組合員・地域社会が安心して心豊かに暮らせる地域社会の実現に取り組みます。

「JA暮らしの活動」は、組合員・地域住民が暮らしの中で様々な思い

やニーズを実現していくために行う自主的な取り組みを、JAが食農教育・高齢者生活支援等を通じてサポートする活動です。JAでは、地域ごとに異なる組合員・地域住民の暮らしのニーズに対応するため、「JA

A地域暮らし戦略」を策定します。

### 2. 地域の活性化に向けた「JA地域暮らし戦略」の実践

地域の実態に応じた「JA地域暮らし戦略」の実践にむけては、女性の積極的な位置づけを行い、女性組織の取り組みをJAの事業戦略としてとらえ、積極的に支援します。また「食と農」を基軸として、地域内の組合員・地域住民のほか他業種等との交流、JAファンづくりや次世代対策にむけたJA食農教育の取り組みを強化します。

### 3. 高齢者への総合的な支援

JAらしい高齢者福祉事業、助け合い活動、元気な高齢者を対象とした事業・活動に積極的に取り組み、安心して暮らせる豊かな地域社会の実現に取り組みます。

### 4. 組合員組織の活性化に取り組みます。

JA教育文化活動の充実強化をはかり、組合員意識の醸成を進め、JAの組織事業基盤を強化します。女性のJA運営への参画に対する主体的意識の高まりを受けて、JAをより活性化するために青壮年組織

等とともに、JA運営への多様な参画を積極的に進めます。

### 次代とともに地域に根ざした協同組合としての役割発揮

#### 1. 地域に即したJA経営基盤戦略を策定し、実践します。

JA経営基盤戦略の策定・実践に向けて、拠点で集めた情報を整理し、担当者間・部門間あるいは本支所間で活用できる仕組みづくりを行い、県域の情報を最大限活用し、地域浸透戦略の策定と着実な実践による安定経営の確保をめざします。

#### 2. 次代につなげる事業利用・活動を通じた組合員加入促進を図ります。

これまで、昭和10年代生まれまでの専業・兼業農家(組合員第1世代)が中心となっており、農業生産を支え、農村の担い手となり、JAを創りあげてきましたが、今後一斉に世代交代することが予測されています(JAグループ愛媛では、70歳以上の正組合員が約5割を占めています)。

第2・第3世代が求めるJA事業、世代交代に伴い発生する組合員の事業・資産の継承(相続相談等)や管



理について、適切に対応します。  
組合員サークル活動等の「場」の提供や店舗運営委員会などを通して、準組合員の意思を経営に反映させる等、より組合員満足の得られる「組合員メリット」の創出・明確化によって組合員の加入促進を図ります。

### 3. JA経営の健全性向上に取り組みます。

将来にわたる健全な財務基盤を確立するため、配当など組合員への還元バランスに配慮しつつ、内部留保等を中心とした財務基盤の拡充に取り組みます。

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時に備えた目的積み立てなどの対策を検討します。

### 4. 「活力ある職場づくり」をめざした人材育成に努めます。

組合員ニーズに的確に応えるため、職員自らが問題意識を持って行動するため、「学習する職場風土づくり」「職員が自ら考え行動する職場風土づくり」を進めます。

### 5. JAグループ愛媛の事業戦略の方向

#### 【中央会機能】

新たな中央会改革行動計画の策定、中央会に求められる機能発揮。

#### 【情報化対策】

県域情報システム中期構想の策定、JA愛媛総合情報センターによる情報コスト削減対策・災害対策措置。

#### 【信用事業】

農業メインバンク・生活メインバンク機能の強化。

#### 【共済事業】

組合員・利用者から選ばれ続ける保障とサービスの提供、組合員・利用者対応力の向上に向けた取組み、地域に根ざした地域貢献活動、コンプライアンス体制の強化。

#### 【経済事業】

① JAの取組みに対しての補完・支援機能の発揮強化（生産段階）  
② TAC活動の強化による担い手への産地振興、担い手結集による生産コストの低減、広域産地化の取組みなど。

② 愛媛チームとしての生産・販売力の強化（流通・販売段階）  
③ 多様な販売への取組みによる販売体制の強化、JA施設のJA間相互活用。

③ 組合員ニーズを的確に把握した事業展開  
④ エコーコープマーク品の普及拡大、高齢化に対応した事業の構築。

#### 【厚生事業】

検診事業の積極的展開、診療事業の充実、JAとの連携による健康増進活動の展開。

#### 【酪農事業】

事業機能の強化、財務力の強化。

## JAと農業への正しい 県民理解の醸成に向けた 広報活動の実践

### 1. 経営戦略としての広報活動の位置づけの明確化と体制強化

組合員・役職員の情報共有化を進め、情勢認識の一体化を図るとともに、JAグループのアイデンティティ（主体性）の再確認と一体感ある広報活動を展開します。

### 2. 食料・農業・JAへの県民理解の醸成に向けた取組み

効果的かつ継続的な広報活動を展開し、「食と農を基軸とした地域に根ざす協同組合」として、県民理解の醸成を図ります。

食農教育を中心に地域や家庭に活動の輪を広げるとともに、教育現場では農業体験活動を提供するなど食と農の大切さを伝え、地域農業を応援してもらえらるファンづくりに取り組めます。



## 恩を知り、 経験を知識に変えて、 醸す酒

昭和60年頃のことです。その年の一連の酒造りを終え一段落をしているところへ杜氏さんから、「体調を壊し、来期は行けない」と連絡が入ります。家業を手伝って数年、ひと通りのことはわかっている、私がやろう。30歳代半ばの私は、無鉄砲ともいえるエネルギーあふれる若造だったかと思えます。

最初は人集めから。余談ですが、ある杜氏さんと話をしたときに、若い子に「おっちゃんたちの仕事は仕事ではない」と言われたそうです。土・日曜があつてはじめて仕事だ、と。まるで笑い話ですが、泊まり込みで24時間かかりつきりなど今のご時世に受け入れられるはずはありません。通いは可能ですが、大変な作業であることは間違いありません。急遽、どうにか、地元の人を中心とする酒造り

チームの結成となりました。それは、あたかも自分でつくったチームのようではありましたが、中・高校時代から青年期にかけてを地元で過ごしていない私は友達も伝手もなく、自分では何もできず、親のつながりがチームをつくってくれたといっても過言ではありません。男性だけを集めるのは困難で、男性は2人、他は女性、地元のおばちゃんたちでした。まだ女性が蔵に入るのは珍しかった時代です。

さて、理解していたはずの蔵の流れは、経営者サイドからのものだったと後で知ることになります。実際の酒造り現場は、ちんぷんかんぷんだったのです。段取り八分とはよく言ったものですが、米を洗って蒸すのはわかるが、さて道具は？ 当日の朝になってスコップだなんだとバタバタとする始末でした。

右も左もわからない素人集団：先入

# 中城 英敏

HIDETOSHI NAKASIRO

中城本家酒造合名会社代表。愛媛県酒造組合・愛媛県酒造協同組合理事長。

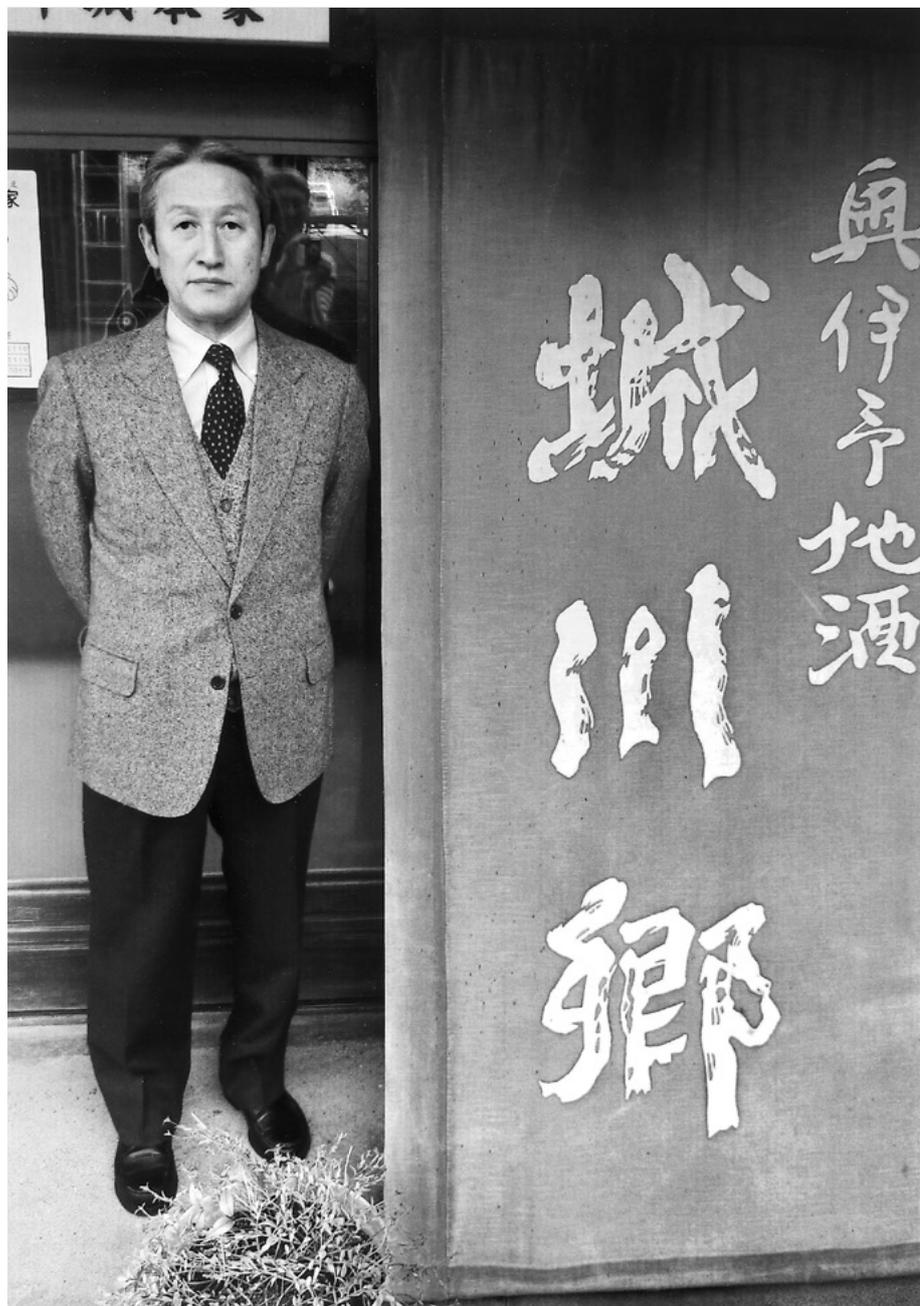
西予市城川町出身。昭和25年8月15日、中城本家酒造合名会社の長男として誕生。小学校4年生より松山で過ごす。東京農業大学醸造科を卒業後、帰省し家業を手伝う。昭和60年より製造責任者、平成16年より4代目代表。平成22年より愛媛県酒造組合・愛媛県酒造協同組合理事長に就任し、現在は2期目。県内46蔵元のリーダーとして酒蔵の活性化に取組んでいる。

趣味は、若いころより多種多様な日本酒を嗜む。高校時代に培ったサッカーが、地元での人のつながりに役立ち、地元中学校でサッカーを指導したことも。他、スポーツ観戦。座右の銘は啐啄（そつたく）。

中城本家酒造合名会社は創業明治31年。県産米と裏山の湧水を使用した日本酒（大吟醸・純米大吟醸、吟醸、純米など）を製造。銘柄は「城川郷」。平成9・11・21年、全国新酒鑑評会金賞受賞。西予市城川町嘉喜尾1319、TEL0894-82-0146。



▲冬の中城本家酒造。厳しい冷え込みが旨い酒を造る



観のない素人たちは、先生（国税局の鑑定官）と私のいうことをただただ素直によく聞き入れてくれ、また、女性たちの仕事ぶりは非常に丁寧で清潔で、周囲の心配をよそにすべてが上手く進みはじめているかのようでした。当時は500石（1升瓶約5万本）近くを造っていましたから、醸造タンクもたくさん本数を造らなければいけません。最初は順調でしたが、絞る

工程が加わってくると、タンクを空けなければその作業はできません。日に仕込みをし、それを終えてタンクを空け、夕方から絞りの段取りに入り：となると、蔵人、つまり家庭の主婦であるおばちゃんたちを夜中まで引っぱりまわすという事態に。それでも彼女たちは、「どうにかしてやらんといかん」という一念をもって成し遂げてくれた、大変な製造責任者元年となりました。

した。その年は、最も多量の酒を造った年でもありました。

※桶売り主体から、自分たちでやるからには中城酒造のラベルで販売する酒造りをやっつけていこう。

精米歩合を高くした白い米の方が酒は旨くなるのでは？ 通常70%の精米を、さらに10%磨けばさらによくなるのでは？ 試してみるとそこが落とし穴で、磨くほど、白くなるほどに水を多く吸いすぎて、柔らかく、溶けすぎる蒸しあがりとなり、よい酒となりません。単に米を磨けばいいということではなく、精米歩合の主流である70%が最も酒造りに適しているということ、身をもって知る結果となりました。

頭でっかちだった知識は、さまざまな生の体験をすることで、ほんものの経験と知識となり、自分自身の内側へと染み入っているようでした。

あるとき先生が、「中城さんは、全国新酒鑑評会での金賞受賞もあった方がいいのでは？」と言われるではありませんか。（以下、次号）

※桶売り：酒造会社が造った酒を桶ごと大手酒造会社に売ること。

## ●平成24年産 冬春野菜出荷協議会 共販量4,705 t、販売高30.5億円を計画

J A全農えひめ青果販売課は、11月13日、平成24年産冬春野菜出荷協議会を開き、レタス・冬春きゅうり・いちごなど主力7品目の販売基本方針を決めました。

栽培面積は、白ねぎ、レタス、冬春きゅうりが前年を上回ったものの、全体では前年比99%の209.9haを見込んでいます。共販量は、全品目で前年を上回って全体では4,705 t（前年比109%）を見込み、販売高は30.5億円を計画しています。

なお、市場からは、各品目とも、栽培面積・出荷量の拡大と期間を通じた安定出荷、適確な産地情報の発信、選別のJ A間・個人間の格差是正などといった要望が出されました。

### 【販売基本方針】

#### 1. 企画販売等多元的販売の強化

市場流通を基本に市場のパートナー化を図るとともに、実需者販売・加工業務販売など販売ルートの確立により、長期安定単価の確保と下位等級の有利販売先確保をめざします。また、品目別に「目標単価」を設定し、企画販売比率の向上により有利販売をめざします。

なお、企画販売は、39企画で1億8,300万円、

平成24年産 冬春野菜出荷計画 単位：ha、トン、%

品 目	平成24年産出荷計画		前年比 (%)	
	面積	共販量	面積	共販量
レ タ ス	43.2	1,039.3	109	104
冬春きゅうり	21.7	1,244.1	101	104
い ち ご	33.3	1,129.9	96	113
ブロッコリー	51.8	347.6	96	114
ほうれんそう	31.4	260.2	99	136
白 ね ぎ	16.3	274.2	112	108
キャベツ	12.2	409.9	76	111
合 計	209.9	4,705.2	99	109

冬春野菜全体の9%を計画します。

#### 2. 販売促進活動の強化

「えひめの食」企画と連携した販促・消費宣伝活動で、産地情報・農産物の旬の美味しさや生産者の思いを伝えるほか、対面型・生産者参加型の「えひめフェア」の実施による試食・レシピ提案等を通じて、えひめ野菜のファン拡大に努めます。

また、消費者交流会を実施し、地産地消の促進を図ります。

#### 3. 安全・安心の取組み

農薬適正使用と履歴記帳の徹底や出荷資材等の適正表記チェックなど危機管理体制の強化。

## ●平成24年産 冬春花き出荷協議会 安定出荷と情報連絡体制の強化を確認

J A全農えひめは、11月16日、冬春花き出荷協議会を開き、夏秋期品目の販売状況の報告と冬春期品目の販売方針を協議しました。

夏秋期品目は、天候不順や需要低迷の影響などにより厳しい販売が続き、シンテッポウユリは数量が前年比112%の75.5万本と伸びたものの、単価が前年比86%の80円、販売金額は前年比97%の6,798万円の実績（6月～10月）でした。

冬春品目（11月～5月）については、デルフィニウムが面積減少（前年比82%）に伴い29.6万本（同77%）、オリエンタルユリが68.3万本（同111%）、ユーカリ65.6万本（同105%）などの販売を計画。

平成24年産 冬春花卉出荷計画 単位：a、本、%

品 目	平成24年産出荷計画		前年比 (%)	
	面積	共販量	面積	共販量
デルフィニウム	155	295,700	82	77
オリエンタルユリ	485	682,800	95	111
ユ ー カ リ	1,736	656,200	99	105

販売基本方針では、愛媛チームとして産地間の連携強化による拠点市場への長期継続出荷体制の強化と需要期の数量確保・対応、情報連絡体制の強化に取り組むことを確認。品質・選別基準の徹底とイベント等を通じたPR活動などにより、ブランド強化・地位確立に取り組めます。

## ●平成24年度早生みかん果実コンクール 県知事賞に西川勘二さん（JAにしうわ）

J A全農えひめと愛媛県果樹研究同志会・女性果樹同志会は、10月24日、平成24年度早生みかん果実コンクールを開催しました。最優秀の県知事賞には、「宮川早生」を出品した西川勘二さん（JAにしうわ）が選ばれました。

コンクールには、89点が出品され、果実の外観と糖・酸のバランス等を基準に審査し、各賞が決まりました。来年3月の果樹同志会大会で表彰されます。

入賞・出品物は、翌25日に開かれた「みかん研究所参観デー」で展示されました。

その他の受賞者は次の皆さんです（カッコ内はJA名・敬称略）。

▽全農愛媛県本部長賞＝石崎勝治（にしうわ）

▽果樹研究同志会長賞＝西村守（えひめ南）

▽女性果樹同志会長賞＝澤近栄彰（同）

▽優良賞＝二宮喜信（同）、松田光弘（にしうわ）、小野寛（同）、竹内寿元（同）、土井哲次（おちいまばり）



▲県知事賞を受賞した西川さんの「宮川早生」

## ●JAグリーンえひめ収穫祭 「芋掘り無料体験会」大盛況！

東温市北野田の農産物直売所「JAグリーンえひめ・フレッシュ市」は、10月26日（金）～28日（日）の3日間、「実りの秋 収穫祭」を開催し、28日には先着30組の親子を対象に「芋掘り無料体験会」を開催しました。

参加者は、店舗に隣接する畑で、「面白い形の芋がとれたよ」などと歓声を上げながら、袋に入りきれないほどサツマイモを収穫。「こんなに採れることがないので面白かった」「お父さんに炭をおこしてもらって焼き芋を作ってもらおう」「どんなお菓子を作ろうか」などと楽しそうに芋を持ち帰っていました。



## ●紅まどんな選果目あわせ会 品格・価格に見合ったブランド品の提供を！

J A全農えひめは、11月5日、愛媛オリジナル品種の「紅まどんな」の本格出荷の前に、ブランドイメージの維持・確立に向け、砥部町のJAえひめ中央砥部経済センターで「紅まどんな選果目あわせ会」を開きました。

「紅まどんな」は、12月の贈答用商品として市場・販売先から高い評価を受けており、愛媛チームとして消費者・販売先の期待に応える、品格・価格に見合った商品を提供していくため、JAの販売・選果担当者らを対象に、「JA全農えひめオリジナル品種推進部会」と合同で、今回初めて目あわせ会を開いたものです。

会では、JA全農えひめの担当者が、出荷要領と選果基準を具体的に説明し、基準の遵守・徹底を呼びかけたほか、優良見本園の視察研修を行いました。



## ●ひめライス新米キャンペーン抽選会 当選者1,000人選ぶ

株式会社ひめライスは、11月19日、2012新米キャンペーンの抽選会を開き、山本健吾社長らが、22,555通の応募の中から当選者1,000人を選びました。なお、応募ハガキ1枚につき10円を「えひめ愛顔の助け合い基金」に寄付します。

キャンペーン期間中は、量販店を中心に新米コーナーの設置や試食販売を行いPRに努めましたが、全体的な消費低迷に加え米の値上がりによる消費減退により、販売数量は計画・前年を下回りました。

株式会社ひめライスでは、今年も12月24日から2月29日まで「無洗米キャンペーン」を実施し、県内産米を中心に消費拡大を図っていきます。



## ●第21回愛媛農林水産賞 JA周桑アスパラガス部会が優秀賞受賞

愛媛県の農林水産業の振興や発展に功績のあった個人・団体を表彰する『第21回愛媛農林水産賞』の表彰式が、10月24日松山市の愛媛新聞社で行われ、4団体が受賞しました。

JA関係では、JA周桑アスパラガス部会が優秀賞を受賞しました。同部会は、ほかし肥料を使った独自の栽培や生産者による県内外での販促活動、高度な選果機の導入による消費者ニーズに合わせた出荷体制の構築など、積極的な産地振興に取組み、愛媛のアスパラガス産地を牽引してきた点等が高く評価されました。



## ●第4回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」 年長部門金賞に川崎茜ちゃん

伊予市下吾川のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケットいよっころは、10月28日、店内で第4回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」を開きました。

『“やさい”と“わたし(ぼく)”「すきなやさい」「きれいなやさい」なんでも画いちゃおう』をキャッチフレーズに幼稚園(保育園)の園児を対象に作品を募集。年少部門23点、年中部門16点、年長部門25点の計64点の応募があり、10月10日の審査会で各賞が決まりました。表彰式では、入賞者全員に賞状、お肉と野菜の詰め合わせを贈りました。

金賞入賞者は次の皆さん(敬称略、カッコ内は幼稚園名)。

◆年少部門：【金賞】二宮尚紀(木の実)、井門碧海(木の実)、畑野紫瑛(松山のぞみ)

◆年中部門：【金賞】前野凌音(エンゼル)、勝木心晴(エンゼル)、小河佐輔(北山崎)  
◆年長部門：【金賞】川崎茜(椿)、池内雄哉(椿)、菅颯花(エンゼル)



▲芋掘りの体験を絵にして、年長部門で金賞を受賞した川崎茜さん

# なんでもBOX

## ●第51回愛媛県肉畜見本市共励会 最優秀賞首席は宮本正義さん（JAにしうわ）

J A全農えひめ畜産部は、11月8日、神戸市中央卸売市場西部市場で、第51回愛媛県肉畜見本市共励会を開きました。

29頭の黒毛和種が出品され、最優秀賞首席には宮本正義さん（JAにしうわ）の出品牛が選ばれました。

今回の格付成績は、5等級5頭・4等級16頭と4等級以上が72%。特に今回は品質の良い牛が多く、特に入賞した5点はBMSNoが7以上で肉質面においても高い評価でした。セリでは、デフレ傾向が続く厳しい販売情勢の中、29頭の平均kg単価1,868円（前年比86円高）とまずまずの結果となりました。

なお、JA全農えひめは、各地の銘柄牛が集まる神戸市場で販売力・ブランド力を強化するため、10月4日に同市場で開催した伊予牛「絹の味」枝肉研修会において、神戸市場限定出荷のブランドとして「伊予牛「絹の味」愛」を発

表しました。「愛」は、月齢28ヶ月以上、日本格付協会が示す規格A・B4等級でBMSNo.7番以上の牛肉。今後は消費地の神戸市場で認められるブランドに育てることにしています。

その他の共励会受賞者は次の皆さんです（敬称略・カッコ内はJA名）。▽最優秀賞次席＝越智秀清（おちいまばり）▽優秀賞首席＝山内荘陸（ひがしうわ）▽同次席＝坂本英喜（えひめ南）▽同3席＝堀内博（ひがしうわ）



## ●えひめスイーツコンテスト2012 県内産かんきつ等を使った スイーツが勢ぞろい

愛媛県産農産物を使った新たな「えひめスイーツ」を募集する「えひめスイーツコンテスト2012」（主催：えひめ愛フード推進機構・愛媛新聞社グループ、共催：JA全農えひめ）の最終審査が、10月23日に行われました。

コンテストのプロ部門では、愛媛県産柑橘を使用した和洋菓子をテーマに募集したところ、県内外から応募があり、生菓子の部で井川美帆さん（ザ・リッツ・カールトン東京）の「サンライト柚子」、焼菓子の部で鎌田琢弥さん（ルフラン・ルフラン）の「太陽の愛蜜」がグランプリを獲得しました。



▲柚子を使用した「サンライト柚子」

## ●「第10回全国和牛能力共進会」 肉牛の部出品の2頭が 1等賞

「和牛維新！地域で延ばそう生産力 築こう豊かな食文化」をテーマに、「第10回全国和牛能力共進会」（主催：全国和牛登録協会）が、10月25日～29日長崎県で開催されました。この大会は、和牛の能力と斉一性の向上を目指し、5年に1度全国の優秀な和牛を一堂に集めて優劣を競う全国規模の大会。愛媛県からは代表に選ばれた3頭を出品しました。

愛媛県代表牛の結果は、肉牛の部（第9区〈生後24か月未満の去勢肥育牛〉）で、JA愛媛たいき畜産センター出品の名号「茂福栄」と高橋節雄さん（JA周桑）出品の名号「三郎」2頭が1等賞、種牛の部（第2区〈14～17か月未満の若雌〉）では、高橋義信さん（JAひがしうわ）出品の名号「みく」が2等賞に入りました。

肉牛の部の2頭は、前回出品牛の成績を上回り、愛媛県の和牛レベルの向上を示しました。



## インフォメーション 金生ふれあい市

- Tel/0896-58-3953(営業日のみ)
- 営/毎週水・土・日曜の8:30~11:30
- 住/四国中央市金生町下分2550-2

## 金生ふれあい市 ~JAうま~

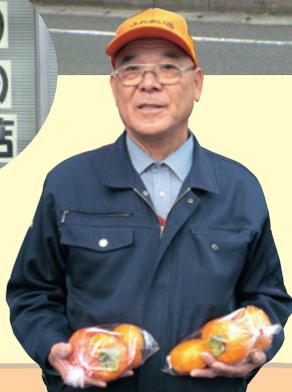
素朴に、たくましく、歩み続けて20年。これからも、ずっと



▲経済センター当時のままの外観



▲店舗正面の窓ガラスに貼られたアピール。この一言に尽きる



高橋 博さん

(JAうま金生ふれあい市部会 部会長)

「金生ふれあい市の野菜もお惣菜類もおいしいですよ。土・日曜も開いているのでドライブがてら、また遠出途中のお弁当やおやつの買い出しにも、是非お立ち寄りください。今日は、私は柿を出荷し、これから仕事へ出勤です」

## 女

### 性は強し! 始まりは軽トラ

金生ふれあい市は平成3年に金生町農協(当時)の選果場で婦人部の有志約20人が農産物を積載した軽トラックを産直市に見立てた週1回の対面販売に始まります。平成20年、JAうま金生支店経済センター跡を広さ約250㎡の店舗に改装し、会員約65名のJAうま金生ふれあい市部会がまるごと運営する常設の農産物直売所となりました。

周辺は製紙工業や住宅が立ち並ぶ地域で、利用者の多くは企業の従業員や家族、近隣の高齢者です。近くにコンビニエンスストアはあるもののスーパーマーケットなどの小売店がなく、新鮮な地元野菜の需要はますます増えていきます。出荷者は兼業農家が多いので、出荷者の拡大と直売所の知名度アップへと、消費者を巻き込んだイベントに取り組んでいく予定です。

## イベントカレンダー

- ・1月初旬 生姜湯の無料配布
- ・8月 アイスcreamの無料配布

## 品

### アイデアと愛情たっぷり、おふくろの味

農産物と人気を2分するのが、隣接の調理施設から毎朝できたてが運ばれてくる各種惣菜です。カラダにやさしい健康料理の食材は、出荷野菜や規格外のものをフル活用。一人暮らしの高齢者にはおでんやおから、ビジネスマンの昼食には炊き込みご飯や

焼きそばに煮ものを添えて、金時豆の天ぷらはおかずにもおやつにもおすすめです。特産の里芋を活用した里芋コロッケはつぶした里芋にヒジキが混ざったヘルシー和風味。里芋お好み焼きは生地に里芋ペーストが混じり、モチリ食感が楽しめます。



▲海と大地の恵みをとじこめた「里芋コロッケ」と、金時豆の甘さとサクサク感が一緒に味わえる「豆の天ぷら」



▲金生ふれあい市惣菜部会。つくっているのは笑顔たっぷり、元気いっぱいのおかあさんたち

## 水

### がおいしいと 農産物もおいしい

金生川とその支流山田井川流域に広がる金生地区は、水の豊かな農作物栽培の適地です。特に米と果物栽培が盛んで、夏にはブドウ、イチジク、ナシが並び、8月末には新米が、秋には柿、冬場は「山田井みかん」目当ての方も多くなります。年末年始にむけては特産の里芋をはじめ、大根、カブ、白菜、キャベツ、ブロッコリー、水耕栽培のトマトなど野菜の品ぞろえも豊富です。冬季限定で干し柿や干し芋、ピーナッツも出てきますよ。直売所は開店一番から多くの買い物客で熱気ムンムン、寒さが吹き飛ばすパワーにあふれています。



▲山田井川が流れる山田井地区の日当たりのよい傾斜地でできた山田井みかん。お尻がぶっくらとふくらんで割れているのがおいしさの証し。今年も甘み、のっぺます



▲老若男女、様々な人が訪れる朝の風景



▲冬場の各種農産物。名前を記したコンテナカゴ内の農産物がまるごと一人の出荷者の商品だ。葉もの野菜の立ち姿も美しい



▲餡の中にもう一つ栗餡が入った「蒸しぱん」。1時間足らずで売り切れとなる



▲海老、人参、ゴボウ、シイタケ、揚げ、カンパチと、具たくさんのおちらし寿司。お米もつつや！ 画面からもおいしさが伝わってきそうな「お寿司」



▲三島高校美術部のセンスが光るポップな壁面も必見



▲地魚もある

▶母娘で連れ立ってお買いもの。「今日もたくさん買いましたよ」



前田 朱美さん、長野 美千代さん  
(金生ふれあい市 スタッフ)

「『カゴいっぱいでも1,000円前後で、安いし新鮮』と山盛り買って遠方の子どもさんに送るお母さん、シルバーカーを押して来られるおばあちゃん、朝の混雑を避けて惣菜が出そろったお昼前にゆっくり来られる常連さん、いろいろな方とのふれあいにこちらも元気をいただいています」





●特集「JAくらしの宅配便スタート」を読んだ。スタートの件ですが、管内のJAでは参加していないのか、聞いたことがないので、もっと詳細な記事にして全県下で実施していただきたい。

(松前町・福島 和子さん)

●「JAくらしの宅配便」を読んで。最近、大型スーパーに押されてか、小売りの青果店が高齢化もあり閉店が続いています。近くの小さな店からクルマでスーパーへ、私たちが高齢になったら、一体生活に必要な日用品をどこで買うのか、家を引っ越そうか、頭の痛い悩みです。でも、宅配のスーパーも出てきて、JAも参入とあらば、未来は明るい。明るい老後を迎えられそうな世の中でアレ。

●「野菜今治店」吹きさらし、さいさいの生産者から始まり、さいさいとお友達しています。あの頃は、朝スナックエンドウを持っていて、「これいくらだつたら買ってもらえろ」と聞いて値段を決めていました。楽しい時代でした。地元産が安心して食べられます。皆さん、ぜひお買い求めください。

(今治市・村越 久美子さん)

●エッセー「農を通じて命を考える」続けてこのシリーズをお願いします。

(岡山市・藤本 光雄さん)

●「農を通じて命を考える」ほんとに考えさせられました。何に対しても命はあり、特に魚の活造りのおさしみは食べません！むごくて：さつさと殺してあげたら？いつも思います。感謝して食べなければ、バチ(罰)があたります。人間って自分勝手ですネ！動物や植物の痛みを考えない！

(宇和島市・兵頭 陽子さん)

●エッセー・小山田憲正様 懐かしく拝見しました。

●女性部総会の講演をお願いしたり精進料理をいただきに行ったり、ご縁の深い地元の方なので、これから益々のご活躍を祈っております。今治市社会福祉協議会の介護教室に参加して

ます。夫の介護(在宅)がだんだん長くなりますが、皆様の助けを借りながら頑張っています。ありがとございます。在宅介護は手探りなので、いろいろ勉強したいと思っています。

(今治市・門田 善恵さん)

●「花ちゃん定期便」ワンコインでお花が届くなんて、GOODですね。「花育」って言葉もできてます。切花だけでなく、ミニ鉢植え、ミニ寄せ植えがあるのもつと注文が行ってほしいです。JAくらしの宅配便」は、西予市宇和町にはAコープ店がないので、Aコープ商品等が欲しい方には便利ですね。

(西予市・安岡 光代さん)

●「花ちゃん定期便」切花の宅配便ですネ。とてもさわやか、心がパツと明るくなりました。鮮度の良い四季の花が届き、心のゆとりを築き、本当にうれしいことです。直売所に行っても一番に花を見えています。私も花が大好きです。応援しています。

(西条市・越智 小夜奈さん)

●クッキングの素材カブ：漬物、和え物くらいしか使ったことがなかったけど、「メンチカブ」になるとは。これなら、肉・肉大好きな孫たちにウケるかなあ。今度、来るまでに作ってみようか！ 試食頼みますよ、おじいちゃん。地元の見果場・保内共選が名前を変え、「みつる共選」となりました。みかんの出荷を迎え、これから一番忙しい時期です。応援してください。

(八幡浜市・二宮 高子さん)

●カブでよくシチューを作ります。カブは葉の部分も美味しいですよ。クッキングでは3つのメニューの紹介でしたが、特に「メンチカブ」がいいですね。ネーミングセンスも光っています！ また、カブと葉を入れるのもとても美味しそうなので作ってみたいと思います。

(西条市・荻田 諭さん)

## 今月のクイズ

品種名を「愛媛果試第28号」といい、糖度・酸などJAの品質基準をクリアしたものに限り使用が認められているブランド名は??

「紅○○○○」

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。



### 締切り

平成25年1月17日(当日消印有効)

### 発表

「あぐり〜ど」2月号で発表します。

### 当選者発表

10月号の答えは「くらし」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 竹葉 佳子さん(宇和島市) 唐津 沙耶さん(今治市)
- 篠原 君代さん(四国中央市) 成高 久豊さん(西条市)
- 渡部 貞夫さん(東温市) 高橋 静枝さん(新居浜市)
- 竹田 勝子さん(今治市) 大西 初美さん(松山市)
- 石村 てるみさん(四国中央市) 戸井 純子さん(東温市)

## 編集後記

★今月号では、レインボーフェスティバル2012の様子を紹介しました。JA愛媛県大会の開催内容や、JAと農業者の連携についての情報や、JAの取り組みが求めている。3ヶ月予報によると、今年の冬は、気温が平年並みからやや低めです。師走を迎え、新年に向けて体調管理に注意してください。

(正直)

NOW NOW

# COOKING

今月の素材  
**ゴボウ**



大地の匂いと特有の食感  
繊細な味わいが食欲をそそる

▶(左)ゴボウご飯 (前)ゴボウの揚げ物 (右)ゴボウサブレ



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

## ゴボウご飯

〈材料・4人分〉	※1人あたり約272kcal
ゴボウ	150g
もち米	3合
牛肉 (薄切り)	100g
青ネギ	1本
醤油	大さじ3
酒	大さじ3
砂糖	大さじ2
だし (顆粒)	小さじ1/2
塩	小さじ1/2
水	適宜

### 〈作り方〉

- ① もち米は洗って水につけておく。
- ② ゴボウは笹がき、牛肉は食べやすい大きさに切る。
- ③ ②を炒めて④で煮る。
- ④ 米を炊飯器に入れ、③と合わせて3合分の水を入れて、炊く。
- ⑤ 炊きあがれば、小口切りのネギをちらす。

※銀杏の水煮や三つ葉を散らしてもよい。

## ゴボウの揚げ物

〈材料・4人分〉	※1人あたり約152kcal
ゴボウ	1本
醤油	大さじ1・1/2
① ミリン	大さじ1・1/2
砂糖	大さじ1
片栗粉	少々
揚げ油	適量

### 〈作り方〉

- ① ゴボウは皮をタワシで洗い、5cm長さに切って、縦に4等分する。
- ② 水にさらして、水気をとり、片栗粉をまぶす。
- ③ ①の調味料を合わせておく。
- ④ ②を揚げて、③にかかめる。

## ゴボウサブレ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約364kcal
ゴボウ	100g
薄力粉	180g
砂糖	50g
バター	70g

### 〈作り方〉

- ① ゴボウは皮をタワシで洗い、すりおろす。
- ② バターと砂糖を混ぜあわせ、ふるった薄力粉と①を加えて、粉気がなくなる程度に混ぜる。冷蔵庫で30分ほど休ませる。
- ③ ②を冷蔵庫から出し、平台で5mm厚さにのばして、長方形にカットする。
- ④ 170℃のオーブンで約20分焼く。

大切な方への贈り物に えひめ飲料 通販限定商品

## POM 愛媛の柑橘ジュース詰め合わせ (緑箱)



みかん、ほんかん、ひめほん、きよみ、はるみ  
5つのおいしさを飲みくらべ

愛媛で大切に育てられた、みかん、ほんかん、ひめほんきよみ、はるみの5種類を詰め合わせにしてお届けいたします。大切な方へのご贈答や、ご家族での飲みくらべなど、いろいろな用途でお楽しみいただけます。



[190gビン/24本入り 3,500円 (税抜)]  
送料全国一律500円  
(5,000円以上後購入で送料無料)

セット内容		
愛媛みかん	190gビン	8本
愛媛ほんかん	190gビン	4本
愛媛ひめほん	190gビン	4本
愛媛きよみ	190gビン	4本
愛媛はるみ	190gビン	4本

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地 TEL:089-923-1500 FAX:089-924-0304  
http://www.ehime-inryo.co.jp (通販専用)http://www.pom-f.com



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

きれいな肌は、  
きれいな服より  
恋を实らせると思う。

ビタミンCでお肌に栄養!

愛を伝えるものって  
バラの花以外にない  
と思ってました。

オレンジも"愛のシンボル"

デートとか旅行とか  
大切な日にかぎって  
風邪はやってくる。

β-カロテンで免疫力UP!

温泉にマッサージ。  
行きたい場所が  
ぜんぶ癒し系。

ビタミンB群で疲労防止

カラダに「愛」を。  
ココロに「愛」を。

## 愛媛のみかん

愛のオレンジロード

オレンジは"愛のシンボル"。「オレンジデー」までの記念日に贈り合って、大切な人との絆を深めませんか。

<p>11/3 12/3</p> <p>みかんの日</p> <p>恋するシーズンの到来</p> <p><small>(旬の柑橘) 温州みかん、紅まどな、POM 愛媛みかん缶ストレート100</small></p>	<p>1/14</p> <p>いい予感</p> <p>恋愛成就のいいきざし</p> <p><small>(旬の柑橘) 伊予柑、ポンカン</small></p>	<p>2/14</p> <p>バレンタインデー</p> <p>愛を届けよう</p> <p><small>(旬の柑橘) 伊予柑、ポンカン、はるみ、甘平</small></p>	<p>3/14</p> <p>ホワイトデー</p> <p>愛に応えよう</p> <p><small>(旬の柑橘) デコポン、せとみ</small></p>
<p>4.14 Orange day</p> <p>ふたりでおこなごな。</p> <p><small>4/14/2012 01:30:00 JST</small></p> <p>詳しい内容はホームページをチェック!</p> <p>愛のオレンジロード <a href="#">検索</a></p>		<p>● <a href="#">JA全農えひめ</a></p>	

この冊子は再生紙を使用しています。